

通算第19回 令和6年度第4回 庄内学園学校運営協議会

日時：令和7年2月17日（月）
14:00～15:30

会場：庄内学園 2F 会議室

<次第>

- 1 開会（司会：中嶋）
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長の選出
- 5 前回会議録確認
- 6 熟議（司会：議長）
 - (1) 学校関係者評価について【資料1】
 - ・育てたい子供像について
 - ・いじめ防止基本方針について
 - (2) 次年度の学校運営基本方針について【資料2】
 - (3) 学校運営協議会自己評価について【資料3】
- 7 報告
 - ・夢育やらまいか事業について
 - ・学校支援ボランティア活動報告
 - ・その他
- 8 連絡

令和7年度 会議日程（案）

第1回学校運営協議会	令和7年 5月12日（月）14:00
第2回学校運営協議会	令和7年 7月14日（月）14:00
第3回学校運営協議会	令和7年11月10日（月）14:00
第4回学校運営協議会	令和8年 2月16日（月）14:00

庄内学園学校運営協議会委員

No.	氏 名	肩書 等
1	ひおき うつひろ 日置 宇津広	浜松市職員・元PTA会長
2	さとう しんご 佐藤 眞悟	読み聞かせボランティア・元教員
3	さとう かずひこ 佐藤 和彦	学習支援ボランティア・元教員
4	きむら ひろこ 木村 裕子	元教員
5	やまなか ちえこ 山中 千恵子	人権擁護委員
6	とくます ゆうし 徳増 祐志	学校支援コーディネーター・はままつフラワーパーク職員
7	やまもと しんや 山本 真哉	R5庄内学園PTA会長
8	ごとう いづみ 後藤 いづみ	主任児童委員
9	ひおき さとる 日置 覚	浜松いわた信用金庫支店長
10	おぎ やすよし 荻 靖義	民生委員児童委員・元教員
11	みやもと ゆうこ 宮本 優子	元教員
12	とくだ よしもり 徳田 義盛	R6庄内学園PTA会長

令和6年度 第3回 庄内学園学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月11日（月） 14時00分～15時40分
- 2 開催場所 庄内学園 会議室
- 3 出席委員 日置宇津広 佐藤眞悟 佐藤和彦 木村裕子 山中千恵子
徳増祐志 山本真哉 後藤いづみ 日置 覚 荻 靖義 宮本優子
- 4 欠席委員 徳田義盛
- 5 学 校 石田直美（校長） 今田和幸（教頭） 横山勝之（教頭）
中嶋恵美（主幹教諭） 福島都代（教務主任） 池野由穂（教諭）
古橋美樹（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 古橋美樹（CSディレクター）
- 8 議長の選出 議長の選出については、第1回の会議にて会長から今年度は徳増委員を
推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認している。
- 9 協議事項
 - (1) 児童生徒の学びについて
 - (2) 学校運営に必要な支援について
- 10 会議記録

司会の中嶋より 委員総数12人のうち11人の出席があり、過半数に達しているため
会議が成立している旨の報告があった。

(1) 児童生徒の学びについて

議長の指示により、大運動会については大運動会実行委員長、応援部長インタビ
ュー映像、発達支援学級の取組についてはプチダンスフェスティバルの映像を見な
がら中嶋より説明があった。

庄内未来研究所の活動について池野教諭より資料2に沿って説明があり、2年目
ということで昨年度より活動は進んでいる。校内だけではなく何かの形で地域に還
元できるように来年度は考えていきたいとの発言があった。

全国学力・学習状況調査について中嶋より、資料3、4に沿って説明があった。

中嶋より子供たちが友達関係に自信をもつことができるように、子供たちの友達
関係についての①現状について②解決策について 本日参観いただいた昼休み（ア
クティブマンデー）の子供たちの様子や地域等の子供たちの様子から御意見をいた
だきたいとの発言を受け、委員より次のような発言があった。

① 現状について

昼休みに遊んでいる様子は楽しそうだったが、アンケートで満足度が低いということはどこか満足できていないのか。放課後にもっと遊びたいのか。子供たちが満足できる友達関係とは何を指しているのかアンケートではよくわからない。

(山本委員)

昔と比べて、放課後に帰ってから集まって遊ぶということが少なくなっている。

(荻委員)

歩きで帰る子は下校時に遊びながら帰っている。(佐藤眞委員)

子供たちが群れて遊ぶのは学校くらいになってきている。放課後は習い事等で集まらない。(木村委員)

友達という概念や感覚、コミュニケーションの取り方が変わってきている。

(日置覚委員)

地域柄、家が遠いので下校後集まるのはなかなかできにくい。(徳増委員)

② 解決策について

学校で友達同士での活動を通して、遊びとは違うが友達とのかかわりができる。アクティブマンデー等、学校できっかけを作り、自信がもてるきっかけになれば良い。

(荻委員)

未来研究所のように好きなことを好きな者同士が集まって、学年関係なく協力して行うのは良い。仲間からの刺激で学ぶことは多いと思う。群れというのは子供たちの成長につながる。学校や地域で群れの場を作っていけばよい。(佐藤和委員)

自信をもつことで人との関わりをうまくできるのでは。けんかしながらも、お互いの存在を認め合っていけると良い。(宮本委員)

現在問題がおきていないのであれば今の活動で問題はない。(日置覚委員)

学校でのつながりを大事にしていったら良いのでは。(徳増委員)

アンケート結果が気になるようであれば、どうして自信がもてないのかまで理由を聞くべきだと思う。(日置宇委員)

(2) 学校運営に必要な支援について

校長より休日の部活動の地域移行について現状と今後の課題についての説明があった。

11 その他の報告・連絡事項等

中嶋より、「花いっぱい大作戦」のおしらせ(資料5)と活動報告「花と緑のコンクール」学校の部 最優秀賞受賞、学校運営協議会自己評価表について説明があった。
次回会議は令和7年2月17日(月)14時から会議室で開催



学園教育目標
主体的に学び協働しながら
未来を創造する市民の育成

浜名湖

庄内学園だより

第7号

2024年11月29日

学校アンケートについて

今回、保護者の方に「学校アンケート」に御協力いただきます。学校評価は、学校教育法に基づいて実施されるものです。第42条に「教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図る」とこと規定されています。保護者の皆様には「外部」の立場ではなく、共に子供たちの教育に深く関わるとい「学校関係者」という立場でお答えいただきたいと思っております。評価の結果については、学校教育法施行規則(第66条)によって公表が義務づけられていますので、場合によっては御意見を聴取させていただくこともあります。御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、庄内学園では、学校目標を「主体的に学び協働しながら未来を創造できる市民の育成」としています。そして、学校教育目標を達成するために、4つの「育てたい子供像」を以下のように設定しました。

- ①自分らしさと人との関わりを大切にすること
- ②困難に打ち克ち、たくましく生き抜く子供
- ③主体的に学び自分の考えをもって表現できる子供
- ④学んだことを社会・地域に生かせる子供

アンケート項目は、「育てたい子供像」に関わる内容としました。今年度は「育てたい子供像」を具現化するために、「庄内学園教育計画重点V」として取り組んできました。教育活動の一部を紹介します。「学校アンケート」に答えていただくための資料としてください。

1 みんなで学びみんなで遊ぼう

本校の目標

- 施設一体型小中一貫校の良さを生かし、1年生から9年生まで共に学んだり活動したりします。
- 小中合同大運動会で、小中全員の「本気！」を発揮します。
- 1年生から9年生の「縦割りグループ」(各学年2人程度)を作って助け合います。

育てたい子供像 ① ② ③ ④

関連度 ○ ◎ ○ ○

庄内未来研究所の発表会には6年生も参加し考えを伝え合いました。よい刺激を受けました。

大運動会で全員で行った「大玉送り」「大応援合戦」はみんなで目標(勝利)に向かいました。

今年度から始めた縦割り班遊び。楽しみながら異学年との関わり方を学んでいます。

2 授業と家庭学習で学力をつけよう

- チームティーチングで支援します。
- 「算数数学科学力アッププロジェクト」で、力をつけます。
- タブレット型パソコンを活用して、力をつけます。
- 中学生は「庄内未来研究所」で、各教科の力を総合して探究します。

育てたい子供像 ① ② ③ ④

関連度 ○ ◎ ○ ◎

算数・数学では個別最適な学びを推進しています。学習内容を理解した子供は、主体的に問題を作り出題しました。

学習アプリを使って思考を整理しました。ICT活用により全員の考えを反映しやすくなり、話し合いも活発になります。

「庄内未来研究所」では、地域のために自分ができることを、自分が興味がある分野から3年間継続してとことん追究しています。

3 アクティブマナーで主体性を

- アクティブモーニング
学年集会や学級エクササイズ等の活動を通して主体性を身に付けます。
- アクティブタイム
児童生徒が主体となって行事等を企画・運営して異学年で交流することで、主体性を伸ばします。

育てたい子供像 ① ② ③ ④

関連度 ○ ◎ ○ ◎

アクティブモーニングの様子です。課題の達成感や成功の喜びを味わわせることを目的とした学級エクササイズを実施しました。

アクティブタイムを企画した生徒会執行部や各委員会のメンバーは「小中一貫校という視点で物事を考えることができるようになった。」「もっとみんなが楽しんでもらえるよう工夫したい。」と感想をもちました。よりよい学校を目指して主体的に行動する力を育成しています。

4 「あなたは大事な人だ」と伝えよう

- ハートカード
周りの人の良い行動に気付き、それを言葉にして伝えます。
- 人間関係づくりエクササイズ
友達の良い自分の良さを伝え合う場を作ります。

育てたい子供像 ① ② ③ ④

関連度 ○ ◎ ○ ○

日常的に友達の良い行動を見つけ「ハートカード」を贈っています。大運動会後は、1～9年生で実施し、各団の各学年に「ハートカード」を送りました。自分の良さを実感できるようにしています。

5年生は人間関係づくりエクササイズ「スモールナンバーコール」を実施しました。人の気持ちを想像する大切さを実感しました。

5 4・2・3で伸びていこう

- 高等部
小中合同大運動会と潮鳴祭に向けて、全校児童生徒をリードします。
- 中等部
小中合同大運動会の「応援」と「わくわくダンスコンテスト」で児童をリードします。
- 初等部
異学年の子たちと楽しく遊びます。「大草山チャレンジハイク」で4年生はリーダーを務めます。

育てたい子供像 ① ② ③ ④

関連度 ◎ ◎ ◎ ○

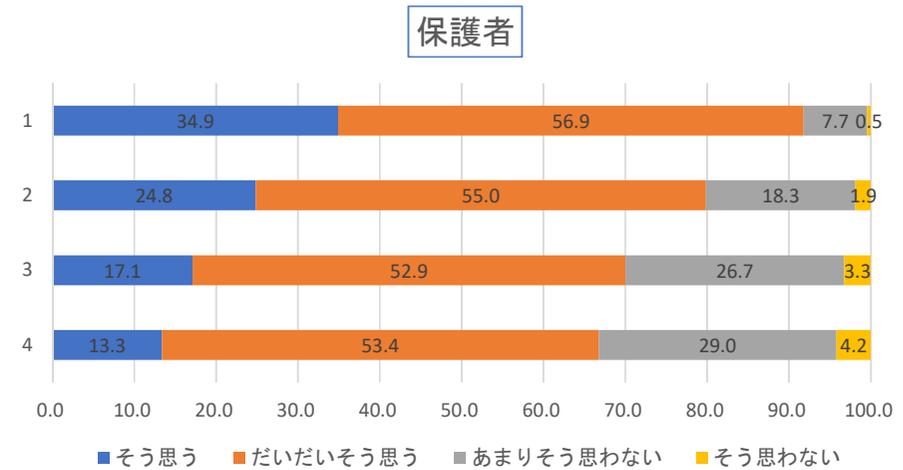
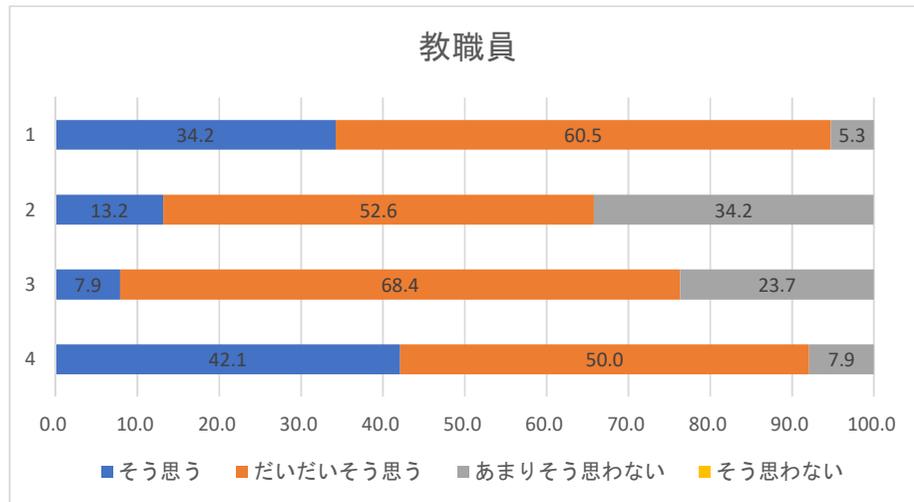
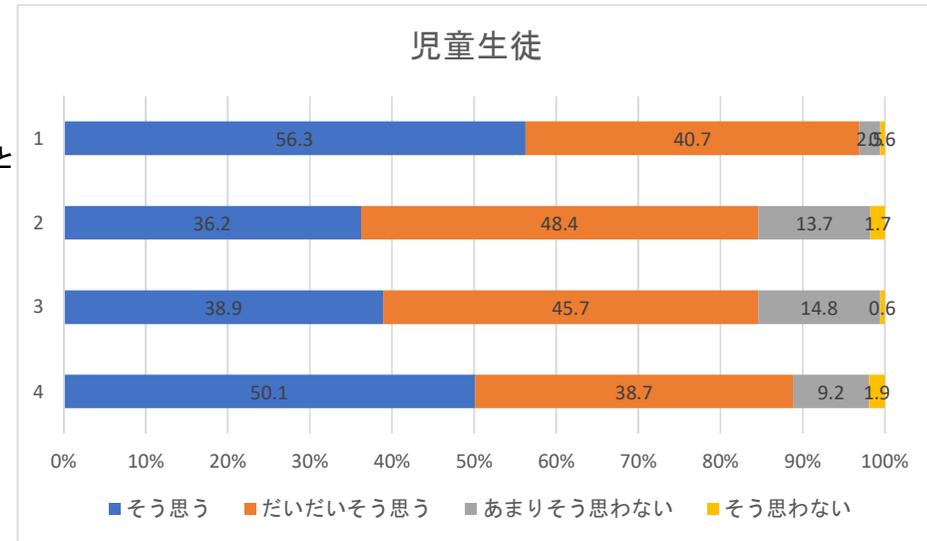
「初等部チャレンジウォーク」では、4年生がリーダーとなり、下級生のことを考えながら行動し、班の仲を深めました。

小学校潮鳴祭では、ダンス創作をしました。6年生のリーダーは、「困難に立ち向かうことができた」と自信をもつことができました。

団長を中心に、3団が心一つにまとまった大運動会。準備から本番までたくましく団を引っ張る9年生は、後輩たちの憧れです。

資料1-2

- 1 自分らしさと人との関わりを大切にしている。※いじめ防止基本方針
- 2 困難に打ち克ち、たくましく生きている。
- 3 主体的に学び自分の考えを表現している。
- 4 生活科、はまなこ学習、庄内未来研究所などで地域について学び、学んだことを社会や地域に生かそうとしている。



資料1-4

学校アンケート集計 R5との比較

1 自分らしさと人との関わりを大切にしている。※いじめ防止基本方針

	1 そう思う			2 だいたいそう思う			3 あまりそう思わない		4 そう思わない	
	R5	R6	比較	R5	R6	1,2合算比較	R5	R6	R5	R6
児童生徒	50.6	56.3	5.7	43.3	40.7	3.0	4.8	2.5	1.3	0.6
教職員	23.3	34.2	11.0	72.1	60.5	-0.6	4.7	5.3	0.0	0.0
保護者	32.9	34.9	2.0	60.0	56.9	-1.1	5.9	7.7	1.3	0.5

2 困難に打ち克ち、たくましく生きている。

	1 そう思う			2 だいたいそう思う			3 あまりそう思わない		4 そう思わない	
	R5	R6	比較	R5	R6	1,2合算比較	R5	R6	R5	R6
児童生徒	34.5	36.2	1.7	47.7	48.4	2.4	15.3	13.7	2.5	1.7
教職員	9.3	13.2	3.9	58.1	52.6	-1.7	32.6	34.2	0.0	0.0
保護者	23.1	24.8	1.8	56.6	55.0	0.2	18.0	18.3	2.3	1.9

3 主体的に学び自分の考えを表現している。

	1 そう思う			2 だいたいそう思う			3 あまりそう思わない		4 そう思わない	
	R5	R6	比較	R5	R6	1,2合算比較	R5	R6	R5	R6
児童生徒	32.8	38.9	6.2	46.4	45.7	5.5	18.2	14.8	2.7	0.6
教職員	4.7	7.9	3.2	76.7	68.4	-5.1	18.6	23.7	0.0	0.0
保護者	17.2	17.1	-0.1	53.5	52.9	-0.6	27.0	26.7	2.3	3.3

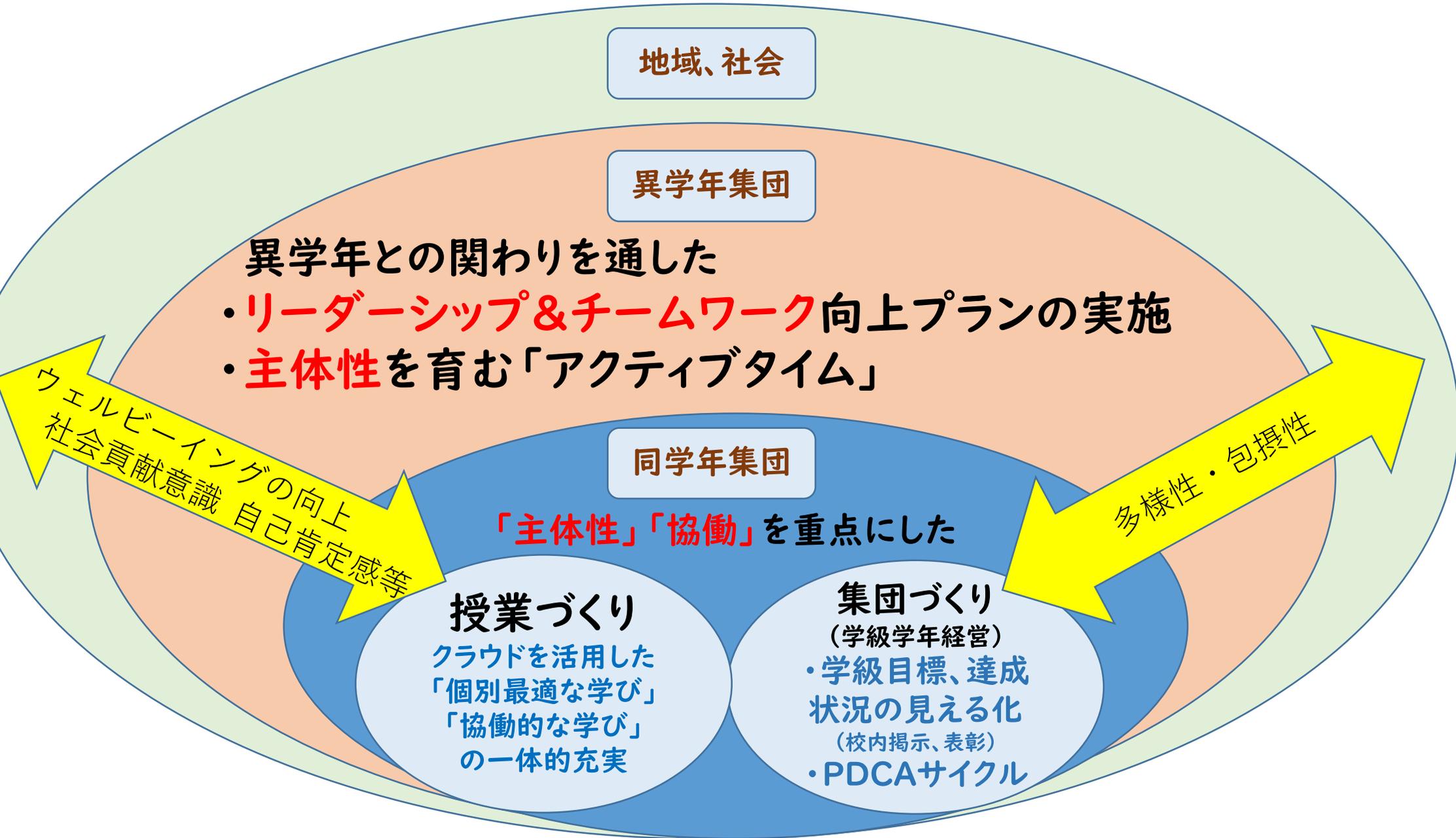
4 【生活科、はまなこ学習、庄内未来研究所などで】地域について学び、学んだことを社会や地域に生かそうとしている。

※【】はR6に加えた。初等部は「生活科などで地域について進んで学んだ」に変更。

	1 そう思う			2 だいたいそう思う			3 あまりそう思わない		4 そう思わない	
	R5	R6	比較	R5	R6	1,2合算比較	R5	R6	R5	R6
児童生徒	35.4	50.1	14.7	46.0	38.7	7.4	14.6	9.2	4.0	1.9
教職員	25.6	42.1	16.5	74.4	50.0	-7.9	0.0	7.9	0.0	0.0
保護者	13.2	13.3	0.1	55.6	53.4	-2.0	28.7	29.0	2.5	4.2

【学校教育目標】

主体的に学び、協働しながら未来を創造できる市民の育成



異学年との関わりを通したリーダーシップ&チームワーク向上プラン ～持続可能な社会の創り手の育成を目指して～

1 発達段階おける身に付けたい力の目安

初等部修了までに	リーダー体験を全員が行い、リーダーとしての楽しさや難しさを味わう。
中等部修了までに	リーダーとフォロワーの役割を体験的に理解する。
高等部修了までに	リーダーとフォロワーが相互作用により集団として最大限に力を発揮できるようにする。

2 各行事等の異学年交流

内容	学年	初等部				中等部		高等部		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
大運動会						リーダー (応援部長)				リーダー (団長)
新入生を迎える会						リーダー				
9年生を送る会								リーダー		
アクティブタイム										
部活動壮行会									リーダー	リーダー
庄内未来研究所発表会										
潮鳴祭						リーダー				
初等部リーダープロジェクト				リーダー						
初等部ウォーク				リーダー						

※上の図を参考に各学年で身に付けたい資質・能力を共通理解し、方策を講じていく。

令和7年度 庄内学園 経営構想(案)

石田直美

1 はじめに

(1)学習指導要領

(ア)社会に開かれた教育課程

(イ)育成を目指す資質・能力(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)

(エ)カリキュラム・マネジメント

(オ)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

(カ)「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」

(2)第4次浜松市教育総合計画「はままつ人づくり未来プラン」(2025年度～2034年度)

前期(2025年度～2029年度)

後期(2030年度～2034年度)

2 浜松市の目指す教育

(1) 本計画の基本理念

国の教育振興基本計画では、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」がコンセプトとして示されました。本市では、国の方向性を踏まえ、第3次教育総合計画の理念を継承しながら、基本理念を「**描く夢や未来の実現**」と定めました。これは市の総合計画や教育推進大綱と整合を図りながら設定しています。

こどもやこどもの成長を支えるすべての人々が、それぞれの「夢や未来」を描き、その実現に向けて自ら行動していくことで、それぞれのウェルビーイングを向上させていきたいという願いが込められています。

(2) 本計画のコンセプト

基本理念のもと、本計画では「**主体性**」「**多様性・包摂性**」「**信頼・協働**」の3つのコンセプトを設定しました。

予測困難で、急激に変化する社会の中で、「描く夢や未来の実現」を達成していくためには、物事を自分事としてとらえ、自ら解決すべき課題を見つけて粘り強く取り組む「**主体性**」、一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重しあう「**多様性・包摂性**」、様々な人や組織とよりよい関係を構築し、多様な人々と協働しながら社会変化を乗り越えていく「**信頼・協働**」が重要であると考えています。こどもたちを取り巻くそれぞれの立場の人が連携・協働し、こどもたちの描く夢や未来の実現に向けて取り組みます。

(3) 目指すこどもの姿

上記の3つのコンセプトを踏まえ、本市の目指すこどもの姿を「**自分らしさを大切にすることも**」「**他者と協働し、主体的に行動できることも**」「**自己調整しながら、粘り強く取り組むこども**」と設定しました。

本市では「自分らしさ」を重視しています。こどもが自他の「自分らしさ」を大切にしていくことは、他者を認め、協働しながら高め合い、補い合うことにつながっていくと考えます。また、「自分らしさ」を大切にすることで、こども自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定する過程を通して自己実現を果たしていくことは、自らが関わる社会に変化をもたらします。その様は、持続可能な社会を創り出す姿そのものであると考えます。

(4) 目指す教職員の姿

自己調整しながら主体的に学び続けることは、こどもにも教職員にも求められる学びの姿です。教職員が自らの専門性と指導力を磨き続けると同時にこどもの「自分らしさ」を受容し、こどもの成長を支援する伴走者としての役割を果たしていくことが重要であると考えています。

こうした考えのもと、本市の目指す教職員の姿を「**こどもの自分らしさを受け止める教職員**」「**愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員**」「**専門性と指導力を磨き続ける教職員**」と設定しました。

↓大切にすること

0 本校は施設一体型小中一貫校であることを意識して、小中でかかわることや異学年のかかわり
を考えること。その際、4・2・3制、「初等部」「中等部」「高等部」で育てるべき力をよく考える。

〈浜松市立小中学校管理規則〉第34条

次の表の左欄に掲げる学校は学校教育法施行規則第79条の9第1項の規定により小学校における
教育と中学校における教育の一貫性に配慮してその管理運営を一体的に行うものとし、(後略)

1 子供たち一人ひとりを「かけがえのない子」として**どの子も**大切にするとことんかかわること

2 子供たちを縦軸(幼・小・中の学びと育ちの連続)と横軸(社会とのつながり)で育てること

3 みんなが子供の「夢と希望」「資質や能力」「自分らしさ」の育成を意識して、**実現に向かうよう支援すること**

2 基本方針

(1)学校教育目標

主体的に学び協働しながら未来を創造できる市民の育成

〈キャリア教育で育てたい力〉

つながる力【協働】、自立する力【自立】、考える力【創造】、見通す力【自分を見つめる】

(2)学校経営目標

・子どもととことんかかわる
・元気な学校 子供も職員も保護者も地域も

○安心・安全で温かな学校 ○自他の命を大切にする学校 ○生徒が誇りを持てる学校
○保護者に信頼される学校 ○教職員が働く喜びを得る学校 ○地域を愛し地域に愛される学校
9年間の学びと育ちの連続を意識して、**多様な**個に応じた学習指導・生活指導をし、生徒一人一人の夢や希望、志を育み、**この実現に向かうことを支援・応援する**学校を経営する。

3 具体的な手立て(データや調査、根拠に照らして、具体的な「アクションプラン」として示す)

(1)9か年の「学び」をつなぐ

本校が目指す「学び」は、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」と方向を同じにするものである。教育課程の編成には、新学習指導要領に掲げられている「(1)知識及び技能が習得されるようにすること」「(2)思考力・判断力・表現力等を育成すること」「(3)学びに向かう力、人間性を涵養すること」という3点を押さえる。

(2)9か年の「育ち」をつなぐ

発達には累加性がある。その時期に身に付けなければいけないことを後戻りして身に付けていくことは大きな労力を要する。第1学年で、第2学年で……第9学年で身に付けさせる事項は確実に身に付けさせたい。指導の際には、各学年での子供の発達特性に考慮しつつ、「学年の子供は学校の子供、学校の子供は地域の子供」という前提に立ち、組織で指導する。

また、**多様な**子供の実態を意識し、子供の良さの伸長に努めつつ、問題解決の場面で、子供自身が考え、自己決定して困難を乗り越えていくことができる指導を心掛ける。さらに、一人一人の9年間の「育ち」について、家庭の状況も含めて小中で情報を共有し、継続した指導に役立てていきたい。

(3)コミュニティ・スクール(6年目←令和2年度本格実施←推進モデル校2年経験)

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図る仕組みである。我々教職員は例えば「風」であり、住民は「土」である。学校や我々教職員の存在が、地域未来の創生を担っていることを意識し、よき風を巻き起こす存在になるとともに、持続可能なコミュニティ・スクールの組織を構築していきたい。

さらに児童・生徒には、地域の重要な担い手としての意識を持たせたい。「社会に開かれた教育課程」、「総合的な学習の時間」、「キャリア教育」と強い関連性を見出して、特に令和5年度からカリキュラム化した、高等部の「総合的な学習の時間」の単元「庄内未来研究所」を児童生徒による「地域貢献」に位置付けたい。

(4)成長因子のある教職員文化の創造 学び続ける教職員 教員育成指標

(ア)GIGA スクール

(イ)「個別最適化」と「協働的な学び」

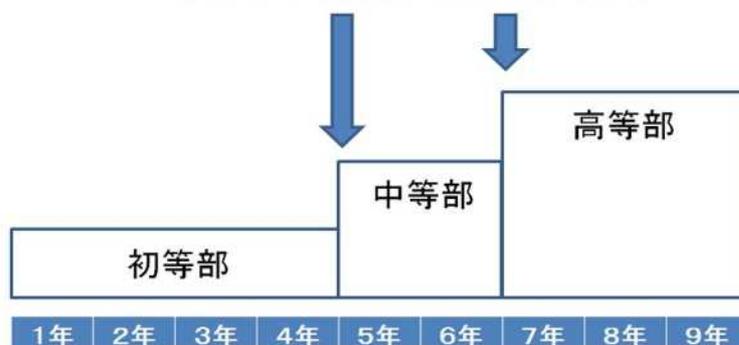
(ウ)小学校における教科担任制

<資料>

庄内学園 学校概要

6-3制をもとにした「4-2-3」の区分で
9年間の学びと育ちをつなぐ

教育的に必要な段差を意図的に設ける



(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(庄内小・中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 1 小中一貫校の特色を活かした活動の充実・支援やPTA等各種団体との連携を深め、より活発な学校支援を行う。
- 2 学校が抱える課題や必要とする支援、あるいは保護者が必要としている支援などの確認・整理を行い、保護者ボランティアや地域の人材などを活用して可能な範囲で支援を行う。
- 3 情報発信の拡充を図る。(学校の基本方針や学校活動の情報発信、その他人材発掘など)

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

--

(あて先) 浜松市長

住所又は所在地 浜松市中央区庄内町100
名 称 庄内学園夢をはぐくむ学校づくり推進協議会

代表者氏名 代表 野中 敏 印

事業報告書

当協議会は、「庄内学園夢育やらまいか事業」を完了しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 事業期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 事業内容

成果と課題				変更点等			
記号	イ	事業内容	学習の充実	記号	エ	事業内容	健康・安全教育の推進
3～6年生の「はまなこ学習」や7～9年生の「庄内未来研究所」(総合的な学習の時間)での体験活動として地域の外部講師を招き、地域・環境・福祉等についての講話を聞くことができた。				5, 7年生の学校保健委員会、7年生の思春期講座、全学年の防災講座において講師の方から有意義な話を聞いて学習を深めることができた。			
記号	ウ	事業内容	特別活動の充実	記号	セ	事業内容	音楽発表会事業該当校バス加算
1～4年生(初等部)が縦割り活動の一環としてはまなこガーデンパークでチャレンジウォークを行い、4年生が初等部リーダーとしての役割を果たすことができた。				4年生の浜松市音楽科研究発表会の参加のための交通費として活用することができた。			
記号	ク	事業内容	環境教育・美化活動の推進	記号		事業内容	
学校花壇整備に向けて、はままつフラワーパークの職員の方に植え方や管理の仕方を教わったり、苗、土、肥料等の準備を行ったりすることができた。							
記号	シ	事業内容	部活動の推進	記号		事業内容	
男子バレーボール部の大会参加、小学生の浜松市陸上大会の参加のための交通費として活用することができた。							
記号	ツ	事業内容	自然あふれる環境と国際色豊かな都市機能	記号		事業内容	
7～9年生(高等部)がポットマム栽培活動を行い、お世話になった方々や各事業所、公共施設等への贈呈を通して、感謝の気持ちを伝えるとともに、ふるさと庄内地区の一員として自覚を深めることができた。							
記号		事業内容		記号		事業内容	
記号		事業内容		記号		事業内容	
記号		事業内容		記号		事業内容	

令和7年2月10日

庄内学園保護者 様

庄内学園応援ボランティア

TEAM “笑” (SHOW) 代表 日置 宇津広

コサージュづくりボランティアの募集について ～ 卒業生へ地域の心（ガーベラ）を届けよう ～

日ごろから、庄内学園の活動にご理解とご協力をいただき心からお礼申し上げます。

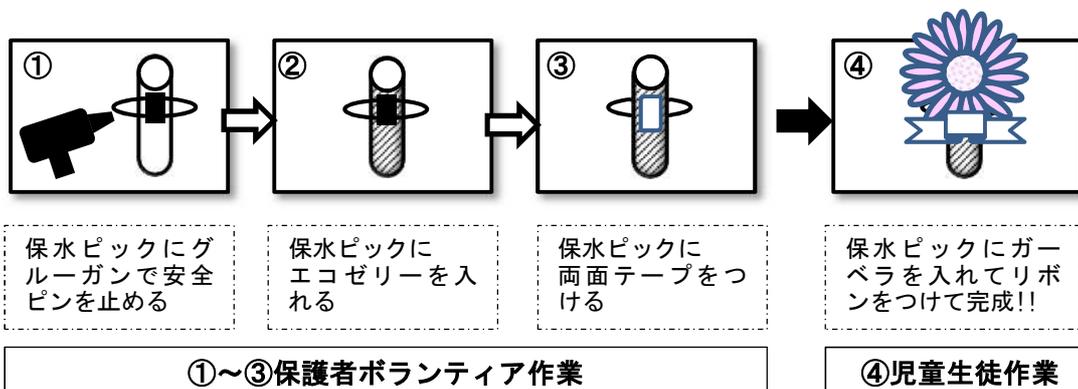
さて、今年度も残りわずかとなり、庄内学園9年生は卒業、6年生は小学校を卒業し7年生へと進級します。そこで、今年も卒業生が付けるコサージュを地域で生産している花“ガーベラ”で製作し、卒業生を送り出したいと考えています。

つきましては、コサージュ作りのボランティアを募集しますのでご協力いただける方はさくら連絡網でお申し込みください。

- 1 日 時 令和7年3月6日（木） 19：00～
- 2 場 所 庄内学園 南館1階 理科室 ※持ち物はありません
- 3 作業内容 《1時間程度の作業を予定しています。》



《準備用品（応援ボランティア、学校等で準備）》
・保水ピック…花を入れる容器 ・安全ピン ・グルーガン
・両面テープ ・エコゼリー ・リボン ・ガーベラ等



※④の作業は児童生徒が行います。6年卒業生分を5年生、9年卒業生分を8年生が作業予定

- 4 協 力 浜松PCガーベラ
- 5 申込方法 参加希望者は「さくら連絡網」でお申し込みください。

申し込み締め切り：2月28日（金）

問い合わせ先：庄内学園〔中嶋 TEL487-0063〕

